



平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年4月28日

上場会社名 山崎製パン株式会社
 コード番号 2212 URL <http://www.yamazakipan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯島 延浩
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 吉田 輝久
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3864-3110

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	256,366	△0.6	7,951	△13.4	8,191	△10.5	4,662	24.7
28年12月期第1四半期	257,953	3.0	9,178	57.7	9,150	53.2	3,739	—

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 4,525百万円 (272.8%) 28年12月期第1四半期 1,213百万円 (△79.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	21.25	—
28年12月期第1四半期	17.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第1四半期	691,564	303,912	40.5
28年12月期	703,886	302,922	39.6

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 279,781百万円 28年12月期 278,776百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	—	—	18.00	18.00
29年12月期	—	—	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	522,000	0.3	19,000	△2.4	19,300	△2.4	10,000	6.4	45.57
通期	1,051,000	0.9	37,000	5.2	38,000	3.0	19,700	8.4	89.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料8ページ「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年12月期1Q	220,282,860 株	28年12月期	220,282,860 株
-----------	---------------	---------	---------------

② 期末自己株式数

29年12月期1Q	842,900 株	28年12月期	842,777 株
-----------	-----------	---------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年12月期1Q	219,440,012 株	28年12月期1Q	219,447,402 株
-----------	---------------	-----------	---------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成29年1月1日～平成29年3月31日）におけるわが国経済は、海外経済の緩やかな回復を背景に輸出が持ち直し、景気は回復基調で推移しましたが、個人消費につきましては力強さを欠くものとなりました。

当業界におきましては、お客様の節約志向が根強い市場環境の下で販売競争が激化する厳しい経営環境となりました。

このような情勢下でありまして、当社グループは、品質向上と新製品開発に積極的に取り組み、「厳選100品」を中心とした主力製品の拡販につとめるとともに、高品質・高付加価値製品を開発する一方で値頃感のある製品を投入して消費の二極化への対応をはかるなど、営業・生産が一体となった部門別製品戦略・営業戦略を推進してまいりました。

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、当社グループの総力を挙げて「ヤマザキベストセレクション」を中心にパン、和洋菓子、米飯、サンドイッチ、調理麺の品質向上と新製品開発に取り組むとともに、焼きたてパンの品揃えの強化をはかるなど、店舗売上の増加をめざしました。また、デイリーヤマザキのリージョンと各工場が一体となって、重点管理店を中心に店舗運営の改善を推進するとともに、エリアを絞り込んだ店舗開発や店舗機能強化のための改装に取り組ましました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は2,563億66百万円（対前年同期比99.4%）、営業利益は79億51百万円（対前年同期比86.6%）、経常利益は81億91百万円（対前年同期比89.5%）となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、法人税率引下げに伴う税負担の軽減もあり、46億62百万円（対前年同期比124.7%）となりました。

セグメント別の状況

<食品事業>

食品事業の主要製品別の売上状況は、次のとおりであります。

①食パン部門（売上高237億6百万円、対前年同期比101.6%）

食パンは、「ロイヤルブレッド」、「超芳醇」、「ダブルソフト」の3大ブランドを中心に品質訴求による拡販につとめるとともに、新製品の「ロイヤルブレッドプレミアム」を発売し、ブランドの強化をはかりました。また、高品質・高付加価値製品のゴールドシリーズの取扱拡大をはかり、新製品の「チョコゴールド」の寄与もあり、数量・販売単価ともに上昇し好調な売上となりました。

②菓子パン部門（売上高902億14百万円、対前年同期比98.9%）

菓子パンは、新製品を計画的に投入したランチパックが順調に推移し、ラインアップを充実強化したヤマザキ菓子パンシリーズや「ホワイトデニッシュショコラ」などのペストリーが好調に推移しましたが、ミニパンや食卓ロール、コンビニエンスストア向けドーナツの伸び悩みもあり、前年同期の売上を下回りました。

③和菓子部門（売上高182億70百万円、対前年同期比100.6%）

和菓子は、主力の串団子や大福、まんじゅうなどの和生菓子や中華まんが好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

④洋菓子部門（売上高343億39百万円、対前年同期比100.0%）

洋菓子は、2個入り生ケーキなどのチルドケーキが大きく伸長するとともに、スイスロールが堅調に推移し、前年同期の売上を確保することができました。

⑤調理パン・米飯類部門（売上高348億61百万円、対前年同期比102.6%）

調理パン・米飯類は、(株)サンデリカにおけるコンビニエンスストアチェーンとの取引拡大により、売上増となりました。

⑥製菓・米菓・その他商品類部門（売上高383億12百万円、対前年同期比95.6%）

製菓・米菓・その他商品類は、(株)不二家の「カントリーマアム」や(株)東ハトの「オールレーズン」が好調に推移しました。ヤマザキビスケット(株)は、主力製品の「チップスター」や「ルヴァン」、「YBCスタンドパック」など新製品の拡販をはかり、クラッカー、ビスケット類の逸失への対応につとめました。

以上の結果、食品事業の売上高は2,397億6百万円（対前年同期比99.4%）、営業利益は80億37百万円（対前年同期比84.9%）となりました。

<流通事業>

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、直営店の減少もあり営業総収入は141億63百万円(対前年同期比97.8%)となりましたが、店舗賃借料等の諸経費の抑制につとめたこともあり、営業損失は6億48百万円(前年同期は8億35百万円の営業損失)となりました。

<その他事業>

その他事業につきましては、売上高は24億96百万円(対前年同期比105.0%)、営業利益は4億56百万円(対前年同期比116.3%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は6,915億64百万円で、前連結会計年度末に対して123億21百万円減少しました。流動資産は2,350億8百万円で、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に対して160億37百万円減少しました。固定資産は4,565億56百万円で、有形固定資産の新規取得による増加等もあり、前連結会計年度末に対して37億15百万円増加しました。負債合計は3,876億52百万円で、支払手形及び買掛金の減少や借入金の減少等もあり、前連結会計年度末に対して133億11百万円減少しました。純資産は3,039億12百万円で、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に対して9億90百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は40.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、わが国経済は、緩やかに回復していくことが期待されますが、当業界におきましては、お客様の節約志向が根強い市場環境の下で販売競争が激化する厳しい経営環境が続くことが予測されます。

このような状況下にあります、当社グループは、引き続き品質向上と新製品開発に積極的に取り組み、「厳選100品」を中心とした主力製品の拡販をはかるとともに、消費の二極化に対応し高品質・高付加価値製品や値頃感のある製品の開発につとめるなど、営業・生産が一体となった部門別製品戦略・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を推進し、売上拡大をめざしてまいります。さらに、当社グループ一丸となって内部管理体制の充実と業務の効率化をはかり、新しい価値と新しい需要を創造し、所期の目標達成をめざして努力してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	107,327	109,229
受取手形及び売掛金	106,693	88,837
商品及び製品	10,928	11,197
仕掛品	613	895
原材料及び貯蔵品	9,255	8,654
繰延税金資産	4,027	3,840
その他	12,566	12,750
貸倒引当金	△365	△396
流動資産合計	251,045	235,008
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	362,128	364,071
減価償却累計額	△267,778	△269,384
建物及び構築物(純額)	94,349	94,687
機械装置及び運搬具	466,200	471,215
減価償却累計額	△392,450	△395,562
機械装置及び運搬具(純額)	73,749	75,652
工具、器具及び備品	29,528	29,954
減価償却累計額	△23,880	△24,144
工具、器具及び備品(純額)	5,647	5,810
土地	116,430	116,479
リース資産	19,999	18,297
減価償却累計額	△12,571	△11,509
リース資産(純額)	7,427	6,787
建設仮勘定	6,097	9,230
有形固定資産合計	303,702	308,648
無形固定資産		
のれん	12,436	12,119
その他	9,228	8,951
無形固定資産合計	21,664	21,070
投資その他の資産		
投資有価証券	73,757	71,900
長期貸付金	442	420
退職給付に係る資産	530	550
繰延税金資産	24,428	25,490
その他	31,114	31,331
貸倒引当金	△2,799	△2,856
投資その他の資産合計	127,472	126,837
固定資産合計	452,840	456,556
資産合計	703,886	691,564

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	78,799	73,543
短期借入金	59,384	58,866
リース債務	2,783	2,553
1年内償還予定の社債	390	140
未払法人税等	8,188	3,708
未払費用	38,493	34,376
賞与引当金	5,093	13,280
販売促進引当金	1,157	1,559
資産除去債務	4	13
その他	45,343	40,965
流動負債合計	239,636	229,007
固定負債		
社債	510	440
長期借入金	26,121	23,203
リース債務	4,837	4,626
役員退職慰労引当金	3,877	3,944
環境対策引当金	92	88
退職給付に係る負債	112,409	112,352
資産除去債務	4,384	4,416
その他	9,095	9,571
固定負債合計	161,327	158,644
負債合計	400,963	387,652
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,014	11,014
資本剰余金	9,666	9,666
利益剰余金	255,145	256,490
自己株式	△895	△896
株主資本合計	274,930	276,275
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,424	24,023
繰延ヘッジ損益	-	0
土地再評価差額金	99	99
為替換算調整勘定	△397	△39
退職給付に係る調整累計額	△21,281	△20,578
その他の包括利益累計額合計	3,845	3,505
非支配株主持分	24,145	24,131
純資産合計	302,922	303,912
負債純資産合計	703,886	691,564

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	257,953	256,366
売上原価	162,410	161,834
売上総利益	95,543	94,531
販売費及び一般管理費	86,365	86,580
営業利益	9,178	7,951
営業外収益		
受取利息	31	20
受取配当金	89	76
固定資産賃貸料	151	159
持分法による投資利益	43	53
雑収入	279	334
営業外収益合計	594	644
営業外費用		
支払利息	282	215
為替差損	222	122
雑損失	117	66
営業外費用合計	622	405
経常利益	9,150	8,191
特別利益		
固定資産売却益	12	19
投資有価証券売却益	443	12
補助金収入	136	-
特別利益合計	592	31
特別損失		
固定資産除売却損	358	274
その他	253	117
特別損失合計	612	392
税金等調整前四半期純利益	9,130	7,830
法人税等	4,862	2,871
四半期純利益	4,268	4,958
非支配株主に帰属する四半期純利益	528	296
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,739	4,662

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	4,268	4,958
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,254	△1,424
繰延ヘッジ損益	△7	0
為替換算調整勘定	△33	250
退職給付に係る調整額	247	722
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	18
その他の包括利益合計	△3,054	△433
四半期包括利益	1,213	4,525
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	832	4,322
非支配株主に係る四半期包括利益	381	203

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。以下「回収可能性適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間から適用し、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法の一部を見直しております。

回収可能性適用指針の適用については、回収可能性適用指針第49項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点において回収可能性適用指針第49項(3)①から③に該当する定めを適用した場合の繰延税金資産及び繰延税金負債の額と、前連結会計年度末の繰延税金資産及び繰延税金負債の額との差額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加算しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首において、繰延税金資産(投資その他の資産)が632百万円、利益剰余金が632百万円増加しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	241,095	14,481	2,376	257,953	—	257,953
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,561	1,718	7,957	11,237	△11,237	—
計	242,656	16,200	10,334	269,191	△11,237	257,953
セグメント利益又は損失(△)	9,469	△835	392	9,025	152	9,178

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額152百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	239,706	14,163	2,496	256,366	—	256,366
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,009	1,713	8,896	12,619	△12,619	—
計	241,715	15,877	11,392	268,985	△12,619	256,366
セグメント利益又は損失(△)	8,037	△648	456	7,845	106	7,951

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額106百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 連結販売実績

(単位：百万円)

セグメント名称	区 分	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)		比 較 増 減	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	前年同期比
食品事業	食 パ ン	23,334	9.1%	23,706	9.3%	371	101.6%
	菓 子 パ ン	91,212	35.4	90,214	35.2	△ 997	98.9
	和 菓 子	18,166	7.0	18,270	7.1	104	100.6
	洋 菓 子	34,326	13.3	34,339	13.4	13	100.0
	調理パン・米飯類	33,967	13.2	34,861	13.6	894	102.6
	製菓・米菓・その他商品類	40,088	15.5	38,312	14.9	△ 1,776	95.6
	食 品 事 業 計	241,095	93.5	239,706	93.5	△ 1,389	99.4
	流 通 事 業	14,481	5.6	14,163	5.5	△ 318	97.8
	そ の 他 事 業	2,376	0.9	2,496	1.0	119	105.0
	合 計	257,953	100.0	256,366	100.0	△ 1,587	99.4

(2) 主要子会社実績

(単位：百万円)

	売 上 高				営 業 利 益			
	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率
(株)不二家(連結)	26,656	26,466	△ 189	△ 0.7%	839	579	△ 260	△31.1%
(株)サンデリカ	25,366	26,179	812	3.2	480	448	△ 31	△ 6.5
(株)ヴィ・ド・フランス	8,590	8,289	△ 300	△ 3.5	357	134	△ 222	△62.3
ヤマザキビスケット(株)	10,141	7,598	△2,543	△25.1	982	170	△ 811	△82.6
(株)東ハト	5,668	5,768	99	1.8	135	179	44	32.9

(3) 平成29年12月期第1四半期の単体業績 (平成29年1月1日～平成29年3月31日)

① 単体経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	183,570	0.4	6,062	2.3	7,104	9.6	4,810	52.6
28年12月期第1四半期	182,768	3.2	5,924	62.9	6,482	44.5	3,152	524.1

② 単体財政状態

	総資産		純資産	
	百万円		百万円	
29年12月期第1四半期	516,407		274,970	
28年12月期	525,635		274,870	

(注) 単体業績数値は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(4) 単体販売実績

(単位: 百万円)

期別 品種別	前第1四半期 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)		当第1四半期 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年同期比
食パン	23,299	12.8%	23,805	13.0%	506	102.2%
菓子パン	83,004	45.4	82,572	45.0	△ 432	99.5
和菓子	18,235	10.0	18,365	10.0	129	100.7
洋菓子	23,971	13.1	24,212	13.2	241	101.0
調理パン・米飯類	10,484	5.7	11,113	6.0	628	106.0
製菓・米菓・その他商品類	10,193	5.6	10,839	5.9	645	106.3
小計	169,189	92.6	170,908	93.1	1,719	101.0
デイリーヤマザキ事業	16,200	8.8	15,877	8.6	△ 322	98.0
内部消去	△ 2,621	△ 1.4	△ 3,215	△ 1.7	△ 593	—
合計	182,768	100.0	183,570	100.0	802	100.4

(5) 単体営業利益増減の内訳

(単位: 百万円)

	平成28年 第1四半期		平成29年 第1四半期		増減額	増減率 (%)
	金額	%	金額	%		
営業利益						
山崎製パン (デイリーヤマザキ事業を除く)	6,760	4.0	6,711	3.9	△ 49	△ 0.7
デイリーヤマザキ事業	△ 835	△ 5.2	△ 648	△ 4.1	187	—
合計	5,924	3.2	6,062	3.3	138	2.3

<山崎製パン (デイリーヤマザキ事業を除く) 増減内訳>

(単位: 百万円)

	平成28年 第1四半期		平成29年 第1四半期		増減額	増減率 (%)	営業利益増減要因
	金額	%	金額	%			
売上総利益	55,553	32.8	56,383	33.0	829	1.5	売上高の増加 8億円 原材料費の減少 3億円 労務費の増加 ▲ 4億円 経費の減少 5億円 償却費の減少 1億円 仕入品の増加等 ▲ 5億円
販売費及び一般管理費	48,793	28.8	49,672	29.1	879	1.8	人件費の増加 ▲ 1億円 経費の増加 ▲ 8億円

(注) 「営業利益増減要因」欄で▲は営業利益のマイナス影響を表しています。

「%」欄は山崎製パン (デイリーヤマザキ事業を除く) の売上高に対する比率を記載しています。